

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-537983(P2004-537983A)

【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2002-583469(P2002-583469)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09
 A 0 1 K 67/027
 A 6 1 K 35/76
 A 6 1 K 38/00
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 25/14
 C 0 7 K 14/705
 C 0 7 K 16/28
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 N 5/10
 C 1 2 Q 1/02
 C 1 2 Q 1/68
 G 0 1 N 33/15
 G 0 1 N 33/50
 G 0 1 N 33/53

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 0 1 K	67/027	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	25/14	
C 0 7 K	14/705	
C 0 7 K	16/28	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月4日(2005.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つまたはその相補的なヌクレオチド配列を含む単離された核酸。

【請求項 2】

配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列のうち、少なくとも 8 個の連続したヌクレオチドを含む単離された核酸。

【請求項 3】

配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つまたはその相補的なヌクレオチド配列を含む核酸と、少なくとも 8 0 % のヌクレオチドが同一である単離された核酸。

【請求項 4】

核酸が、配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つまたはその相補的なヌクレオチド配列を含む核酸と、8 5 %、9 0 %、9 5 %、または 9 8 % のヌクレオチドが同一である、請求項 3 に記載の単離された核酸。

【請求項 5】

配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つまたはその相補的なヌクレオチド配列を含む核酸と、厳密性の高い条件下でハイブリッドを形成する単離された核酸。

【請求項 6】

配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つにおいて示されるヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列を含む単離された核酸。

【請求項 7】

配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列のうち、少なくとも 1 5 個の連続したヌクレオチドを含む、A B C C 1 2 遺伝子に特異的なヌクレオチド・プローブまたはヌクレオチド・プライマー。

【請求項 8】

配列番号 3 5 ~ 4 6 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列を含む、A B C C 1 2 遺伝子に特異的なヌクレオチド・プローブまたはヌクレオチド・プライマー。

【請求項 9】

a) 増幅反応に必要な試薬の存在下で、第 1 のヌクレオチド・プライマーが核酸領域の 5 ' の位置でハイブリッドを形成し、第 2 のヌクレオチド・プライマーが核酸領域の 3 ' の位置でハイブリッドを形成する 2 つのヌクレオチド・プライマーと核酸を接触させること、および

b) 増幅した核酸領域を検出すること
を含む請求項 1 に記載の核酸の領域を増幅する方法。

【請求項 1 0】

2 つのヌクレオチド・プライマーが、

a) 配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列または相補的なヌクレオチド配列のうち、少なくとも 1 5 個の連続したヌクレオチドを含むヌクレオチド・プライマー、

b) 請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載のヌクレオチド・プライマー、

c) 配列番号 3 5 ~ 4 6 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的な配列を有する核酸を含むヌクレオチド・プライマー
からなる群から選択される請求項 1 に記載の核酸の領域を増幅する方法。

【請求項 1 1】

a) そのハイブリダイゼーション位置が核酸領域のそれぞれ 5 ' および 3 ' に位置する 2 つのヌクレオチド・プライマーと、場合によって、

b) 増幅反応に必要な試薬

とを含む請求項 1 に記載の核酸を増幅するためのキット。

【請求項 1 2】

2 つのヌクレオチド・プライマーが、

a) 配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列または相補的なヌクレオチド配列のうち、少なくとも 1 5 個の連続したヌクレオチドを含むヌクレオチド・プライマー

、

b) 請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載のヌクレオチド・プライマー、

c) 配列番号 3 5 ~ 4 6 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的な配列を有する核酸を含むヌクレオチド・プライマー

からなる群から選択される請求項 1 1 に記載のキット。

【請求項 1 3】

マーカー化合物を含む、請求項 7 ~ 9 のいずれかに記載のヌクレオチド・プローブまたはヌクレオチド・プライマー。

【請求項 1 4】

a) 1) 配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列のうち、少なくとも 1 5 個の連続したヌクレオチドを含むヌクレオチド・プローブ、

2) 請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載のヌクレオチド・プライマー、

3) 配列番号 3 5 ~ 4 6 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列を含むヌクレオチド・プローブ

からなる群から選択されるヌクレオチド・プローブと核酸を接触させること、および

b) 核酸とプローブで形成される複合体を検出すること
を含む請求項 1 に記載の核酸を検出する方法。

【請求項 1 5】

プローブが担体上に固定されている、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 6】

a) 1) 配列番号 1 ~ 3 2 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列のうち、少なくとも 1 5 個の連続したヌクレオチドを含むヌクレオチド・プローブ、2) 請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載のヌクレオチド・プライマー、3) 配列番号 3 5 ~ 4 6 のいずれか 1 つのヌクレオチド配列またはその相補的なヌクレオチド配列を含むヌクレオチド・プローブからなる群から選択されるヌクレオチド・プローブと、場合によって、

b) ハイブリダイゼーション反応に必要な試薬

とを含む請求項 1 に記載の核酸を検出するためのキット。

【請求項 1 7】

プローブが担体上に固定されている、請求項 1 6 に記載のキット。

【請求項 1 8】

請求項 1 に記載の核酸を含む組換えベクター。

【請求項 1 9】

ベクターがアデノウイルスである、請求項 1 8 に記載のベクター。

【請求項 2 0】

請求項 1 8 に記載の組換えベクターを含む組換え宿主細胞。

【請求項 2 1】

請求項 1 に記載の核酸を含む組換え宿主細胞。

【請求項 2 2】

配列番号 3 3 または 3 4 のいずれか 1 つのアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする単離された核酸。

【請求項 2 3】

請求項 2 2 に記載の核酸を含む組換えベクター。

【請求項 2 4】

請求項 2 2 に記載の核酸を含む組換え宿主細胞。

【請求項 2 5】

請求項 2 3 に記載の組換えベクターを含む組換え宿主細胞。

【請求項 2 6】

a) 配列番号 3 3 または 3 4 のアミノ酸配列を含むポリペプチド、

b) 配列番号 3 3 または 3 4 のアミノ酸配列を含むポリペプチドのポリペプチド断片またはポリペプチド変異体、および

c) 配列番号 3 3 または 3 4 のアミノ酸配列を含むポリペプチドに相同的なポリペプチド

からなる群から選択される単離されたポリペプチド。

【請求項 2 7】

請求項 2 6 に記載の単離されたポリペプチドに対する抗体。

【請求項 2 8】

抗体が検出可能な化合物を含む、請求項 2 7 に記載の抗体。

【請求項 2 9】

a) ポリペプチドを請求項 2 7 に記載の抗体と接触させること、および

b) ポリペプチドと抗体で形成された抗原 / 抗体複合体を検出すること

を含むポリペプチドを検出する方法。

【請求項 3 0】

a) 請求項 2 7 に記載の抗体と、

b) ポリペプチドと抗体で形成された抗原 / 抗体複合体の検出を可能にする試薬とを含むポリペプチドを検出するための診断キット。

【請求項 3 1】

請求項 1 に記載の核酸と、生理的に適合する賦形剤とを含む薬剤組成物。

【請求項 3 2】

請求項 1 8 に記載の組換えベクターと、生理的に適合する賦形剤とを含む薬剤組成物。

【請求項 3 3】

発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼに罹った患者の予防用および / または治療用薬剤を製造するための請求項 1 に記載の核酸の使用。

【請求項 3 4】

発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼに罹った患者の予防用および / または治療用薬剤を製造するための請求項 1 8 に記載の組換えベクターの使用。

【請求項 3 5】

発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼに罹った患者の予防用 / または治療用薬剤を製造するための、配列番号 3 3 または 3 4 のアミノ酸配列を含む単離された A B C C 1 2 ポリペプチドの使用。

【請求項 3 6】

配列番号 3 3 または 3 4 のアミノ酸配列を含むポリペプチドと、生理的に適合する賦形剤とを含む薬剤組成物。

【請求項 3 7】

発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼの予防用または治療用の活性成分をスクリーニングするための、配列番号 3 3 または 3 4 のアミノ酸配列を含む単離された A B C C 1 2 ポリペプチドの使用。

【請求項 3 8】

発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼの予防用または治療用の活性成分をスクリーニングするための、配列番号 3 3 または 3 4 のアミノ酸配列を含む A B C C 1 2 ポリペプチドを発現する組換え宿主細胞の使用。

【請求項 3 9】

a) 少なくとも 1 つの A B C C 1 2 ポリペプチドと検出可能なマーカーを含む基質とを含む膜小胞を調製すること、

b) ステップ a) で得た小胞を作用薬または拮抗薬の候補化合物とインキュベートすること、

c) 検出可能なマーカーを含む基質の放出量を定性的かつ / または定量的に測定すること、および

d) 作用薬または拮抗薬の候補化合物とともに前以ってインキュベートしていない膜小胞による標識基質放出の測定値と、ステップ b) で測定した基質の放出量とを比較すること

を含む A B C C 1 2 ポリペプチドの作用薬または拮抗薬をスクリーニングする方法。

【請求項 4 0】

a) 検出可能なマーカーで標識した陰イオンを含む A B C C 1 2 ポリペプチドを発現する細胞をインキュベートすること、

b) ステップ a) の細胞を洗浄して細胞中に侵入していない過剰の標識陰イオンを除去すること、

c) ステップ b) で得た細胞を A B C C 1 2 ポリペプチドの作用薬または拮抗薬の候補化合物とともにインキュベートすること、

d) 細胞からの標識陰イオンの流出量を測定すること、および

e) 作用薬または拮抗薬の候補化合物とともに前以ってインキュベートしていない細胞で測定した標識陰イオンの流出量と、ステップ d) で測定した標識陰イオンの流出量とを比較すること

を含む A B C C 1 2 ポリペプチドの作用薬または拮抗薬をスクリーニングする方法。

【請求項 4 1】

請求項 2 4 または 2 5 に記載の組換え宿主細胞を含む移植片。